

【別添1】

整備計画書

代表事業者 (設備所有者・目標保有者) ※1	法人	法人名	××リース株式会社			
		法人番号(13桁、半角)	1234567890123			
		法人所在地	〒110-0000 東京都千代田区...			
		主な業務内容	リース・クレジット業			
	事業実施責任者	部署	東京支店	}	事業実施責任者は「様式1応募申請書」の代表者と同一とすること。 事業実施責任者は、当該法人等の決裁者であれば、事業場もしくは工場の代表者等であっても可。 (本事業への参加に関して、全ての責任を負うことを理解した上で)	
		役職	支店長			
		氏名	×× 一郎			
	経理責任者	部署	経理部			
		役職	部長			
		氏名	×× 二郎			
	代表事業者の事務連絡先 ※2	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 代表事業者 <input type="checkbox"/> 事務代行者			
		法人名	××リース株式会社			
部署		経理部				
役職		経理係長				
氏名		×× 三郎				
勤務先住所		〒110-0000 東京都千代田区...				
電話番号		03-1234-xxxx				
E-mail	saburo@xxx.co.jp					
共同事業者 (目標保有者) ※3	法人	事業実施責任者				
		法人番号(13桁、半角)	氏名	所属部署・役職	電話番号	E-mail
		〇〇株式会社 2345678901234	〇〇 四郎	代表取締役	03-5978-xxxx	shiro@ooo.co.jp
	共同事業者の事務連絡先 ※4	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 共同事業者 <input type="checkbox"/> 事務代行者			
		法人名	〇〇株式会社			
		部署	生産管理部			
		役職	設備課課長			
		氏名	〇〇 五郎			
勤務先住所	〒160-0000 東京都新宿区...					
電話番号	03-4321-0000					
E-mail	goro@ooo.co.jp					
削減協力者 ※5	法人名					
補助事業の概要	事業の実施場所 ※6	事業場・工場名	〇〇株式会社△△工場			
		施設の所有者	〇〇株式会社			
		法人番号(13桁、半角)	2345678901234			
	事業場・工場住所	〒336-0000 埼玉県さいたま市...				
事業実施場所の主な業務内容	食料品製造業					
参加形態	<input checked="" type="checkbox"/> 単独参加 <input type="checkbox"/> グループ参加		複数年度事業の場合は、ここにチェックを入れること。			
事業形態 ※7	<input type="checkbox"/> 事業場 <input checked="" type="checkbox"/> 工場					
単・複数年度	<input type="checkbox"/> 単年度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度事業					

注：記載にあたっては、「ASSET 実施ルール」を参照すること。また、記入欄が少ない場合は、本様式を引き伸ばして使用すること。

※1 代表事業者は、補助対象の設備を保有し、補助金の交付を受ける法人とする。

※2 代表事業者の事務連絡先は、代表事業者、あるいは代表事業者からの委任を受けた第3者である事務代行者の窓口となる担当者情報について記載する。

※3 テナント、工場内で事業を行う者が代表事業者(目標保有者)として参加する場合には、当該建物や工場の所有者が共同事業者(目標保有者)として参加していること。

※4 共同事業者の事務連絡先は、共同事業者のいずれかの法人、あるいは代表事業者及び共同事業者からの委任を受けた第3者である事務代行者の窓口となる担当者情報について記載する。

※5 削減協力者は、代表事業者及び共同事業者以外に、削減事業に協力する法人(テナント、工場内で事業を行う者等)とする。(任意)

テナント、工場内で事業を行う者等が目標保有者として参加する場合、本様式においては共同事業者として記載する。

フランチャイズチェーン(特定連鎖事業者)の加盟店オーナーは、原則として共同事業者ではなく削減協力者として記載する。

※6 グループ参加の場合、事業の実施場所は「〇〇ビル、△△ビル、□□ビル」のように参加事業場名または工場名をすべて記載する。

住所は代表的な事業所を記載する。

※7 事業場と工場両方が含まれる場合には、より排出量の多い方を選択する。

複数年度事業でも2019年度申請時は、1年度目の事業完了日(2020年2月29日以前の日付)を記入すること。

事業名	△△工場における蒸気ボイラの燃料転換および、ガスコージェネレーション導入によるCO2削減事業					
事業期間	交付決定の日 ~ □ 2020年 2月 29日 事業完了 (2019年度)					
基準年度CO2排出量 ※1, 2	8,100	8,000	8,500	8,200		
	tCO2(2016年度(平成28年度))	tCO2(2017年度(平成29年度))	tCO2(2018年度(平成30年度))	tCO2(基準年度排出量)		
削減効果	$\frac{1,800.0}{8,100} + \frac{250.0}{8,000} = \frac{2,050}{8,200}$ 削減目標年度(2019年度)の年間CO2排出削減目標量 ※3 先進対策によるCO2排出削減目標量 <t-CO2>-① 自主的対策によるCO2排出削減目標量 <t-CO2>-② 自主的対策による排出削減目標比率 12.1 %					
	別添2添付補足資料の値を転記すること。					
ASSET事業対象製品導入比率	$\frac{252,051,740}{255,771,740} \times 100 = 98.5$ ASSET事業対象製品の材料費 ※4 <円> 先進対策の材料費 ※5 <円> <%>					
補助の費用効率性	補助金申請額 ※6	164,766,000	円	補助対象経費 ※6	353,450,000	円-③
	$\frac{353,450,000}{\left(\frac{1,800.0}{8,100} + \frac{250.0}{8,000} \right) \times 10.00}$ 補助対象経費 <円>-③ 先進対策によるCO2排出削減目標量 <t-CO2>-① 自主的対策によるCO2排出削減目標量 <t-CO2>-② ※7 補助対象設備の法定耐用年数<年間> ※8			17,241	<円/t-CO2>	

- ※1 基準年度排出量の算定については、「ASSET 実施ルール」を参照すること。
 - ※2 基準年度は平成28年度～平成30年度の3年間平均を原則とするが、固有の事情により例外を認めることもあり得る。
 - ※3 排出削減目標量の算定については、「ASSET 実施ルール」を参照すること。
この計画書に記載の排出削減目標量の数値自体は、本計画書の提出以降変更することができない。
 - ※4 ASSET事業対象製品の本体および直属機器の材料費
 - ※5 ASSET事業対象製品とその他低炭素製品の本体および直属機器の材料費
 - ※6 複数年度事業は、2年間の総額を記載すること。
 - ※7 自主的対策によるCO2排出削減目標量は、先進対策によるCO2排出削減目標量を超えない範囲とする。超えた場合は先進対策と同じ値とする。
 - ※8 補助対象設備の法定耐用年数は、設備が複数ある場合は単純平均又はCO2削減効果による加重平均を用いること。
- 注 数値は、CO2削減目標量は小数点第1位、設備の法定耐用年数は小数点第2位、CO2基準年排出量と金額は整数で記入すること。

別添1別紙3より転記すること。
小数第2位まで記載すること。

※1 ASSET事業対象製品は製品名まで記載すること。

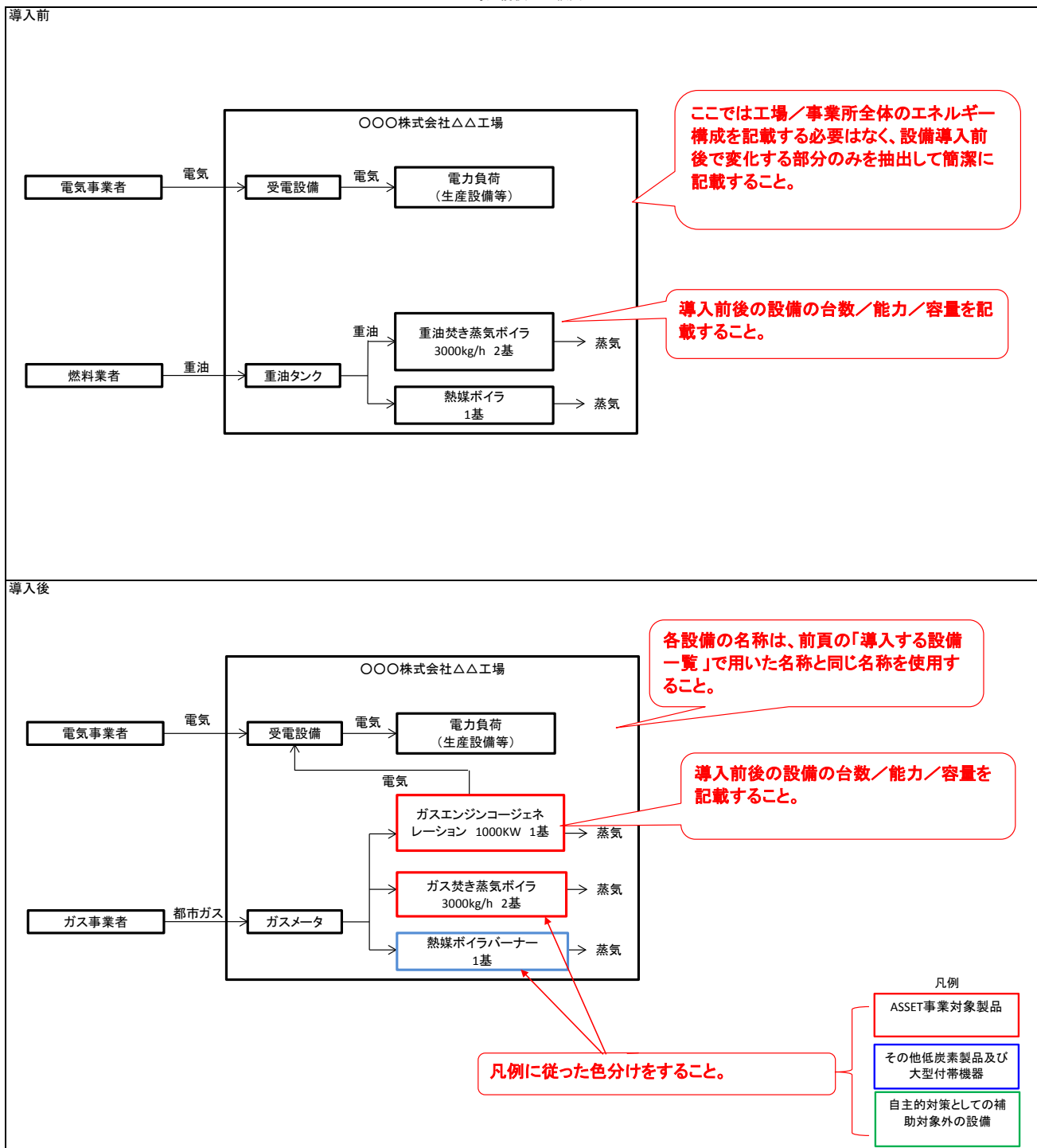
区分	設備名 ※1、※2	製品名 ※3
ASSET事業対象製品	ガスエンジンコージェネレーション	ミラーサイクルガスエンジンコージェネレーションパッケージ
	ガス焼き蒸気ボイラ	ガス焼き高効率小型貫流蒸気ボイラ
補助対象設備	熱媒ボイラバーナー	
	その他低炭素製品及び大型付帯機器	
自主的対策としての補助対象外の設備		

※2 ここで記載する設備名は、全ての別添・別紙において同一のものとする。

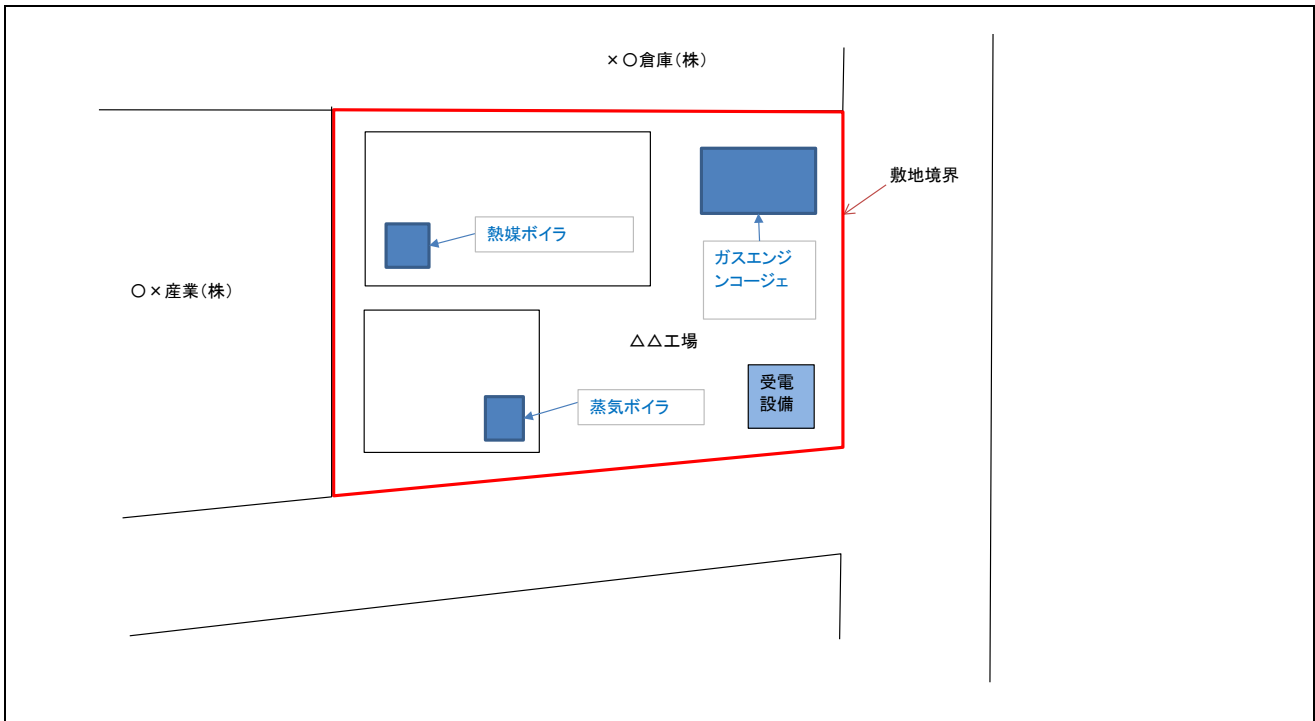
※3 一つの製品名に一つの設備名を対応させること。
ASSET事業対象製品に関しては型式毎が望ましい。
個別に設備名を定めた上で、まとめた記載が可能。
(例) LED照明①～⑮

- 注：記入欄が少ない場合は、適宜欄を増やして使用すること。
- ※1 ここで記載する設備名は、全ての別添・別紙において同一のものとする。
- ※2 一つの製品名に一つの設備名を対応させること。
- ※3 ASSET事業対象製品のみL2-Tech認証製品一覧の製品名を記載すること。

導入前後の比較図



注1：CO2排出抑制設備の導入前後の比較ができるように、概略図を作成すること。
 注2：導入前後の設備の台数／能力／容量を記載すること。
 注3：グループ申請の場合、本ページをコピーして事業所・工場ごとに記載すること。



敷地内における主な化石燃料燃焼設備(ボイラー等)、他社から供給を受けた電力・熱を使用する主な設備(※主な設備を箇条書きで記載)

1. 受電設備
2. 化石燃料設備: 蒸気ボイラー、熱媒ボイラー

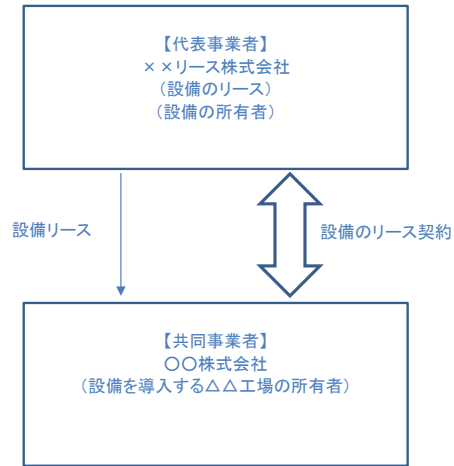
敷地境界を確認の上、忘れずにチェックを入れること。

敷地境界の確認 : 「ASSET実施ルール」に沿った敷地境界となっていることを確認したら□に✓のこと。

テナント、工場内で事業を行う者が代表事業者(目標保有者)として参加する場合には、当該建物や工場の所有者が共同事業者(目標保有者)として参加しているかどうか確認すること。

注1: 敷地境界については「ASSET実施ルール」を参照すること。

注2: グループ申請の場合、本ページをコピーして事業所・工場ごとに記載すること。



その他特記事項

【別添2】

経費内訳を作成する際には、別添2添付補足資料から金額を転記すること。

経費内訳

[複数年度2ヵ年度分]

公募時は記入しない 所要経費	(1) 総事業費	(2) 寄付金その他の収入	(3) 差引額 (1) - (2)	(4) 補助対象経費 支出予定額
	356,000,000 円	0 円	356,000,000 円	353,450,000 円
	(5) 基準額	(6) 選定額 (4)と(5)を比較して少ない方の額	(7) 補助基本額 (3)と(6)を比較して少ない方の額	補助対象経費支出予定額内訳の合計額に一致する。
	円	353,450,000 円	353,450,000 円	
(8) ASSET事業対象製品関連経費	(9) その他の経費 (7) - (8)	(10) 補助金所要額 (8) × 1/2 + (9) × 1/3 千円未満切り捨て		
281,701,740 円	71,748,260 円	164,766,000 円		

補助対象経費支出予定額内訳

下記積算内訳の内(※)ASSET事業対象製品の金額合計。

経費区分・費目	金額	積算内訳	資料番号
工事費			
本工事費	333,964,000	材料費 269,529,000	各設備名は別添1の導入する設備一覧と同じ設備名を用いること。
		ガスエンジンコージェネレーション (※) 208,000,000	
		ガスエンジンコージェネレーション (付帯) 10,619,260	
		ガス焼き蒸気ボイラ (※) 44,051,740	
		ガス焼き蒸気ボイラ (付帯) 2,138,000	
		熱媒ボイラバーナー 3,720,000	
		熱媒ボイラバーナー (付帯) 1,000,000	
		労務費 57,775,000	
		ガスエンジンコージェネレーション (※) 11,715,000	
		ガスエンジンコージェネレーション (付帯) 29,560,000	
		ガス焼き蒸気ボイラ (※) 4,400,000	
		ガス焼き蒸気ボイラ (付帯) 4,300,000	
		熱媒ボイラバーナー 1,200,000	
		熱媒ボイラバーナー (付帯) 6,600,000	
		共通仮設費 2,050,000	
		ガスエンジンコージェネレーション (※) 335,000	
		ガスエンジンコージェネレーション (付帯) 825,000	
		ガス焼き蒸気ボイラ (※) 450,000	
		ガス焼き蒸気ボイラ (付帯) 170,000	
		熱媒ボイラバーナー 70,000	
		熱媒ボイラバーナー (付帯) 200,000	
		現場管理費 2,700,000	
		ガスエンジンコージェネレーション (※) 600,000	
		ガスエンジンコージェネレーション (付帯) 1,400,000	
		ガス焼き蒸気ボイラ (※) 200,000	
		ガス焼き蒸気ボイラ (付帯) 150,000	
		熱媒ボイラバーナー 150,000	
		熱媒ボイラバーナー (付帯) 200,000	
		一般管理費 1,910,000	
		ガスエンジンコージェネレーション (付帯) 1,200,000	
		ガス焼き蒸気ボイラ (付帯) 200,000	
		熱媒ボイラバーナー 210,000	

材料費だけに限らず、労務費や現場管理費等全ての経費は、ASSET事業対象製品とそれ以外を区分して記載すること。

付帯設備がある設備は設備名の後ろに(付帯)と記し、費用を分けて計上すること。
付帯設備には(※)は付けない。

		熱媒ボイラー（付帯）	300,000		
機械器具費	7,350,000	ガスエンジンコージェネレーション（※）	5,350,000		
		ガスエンジンコージェネレーション（付帯）	1,500,000		
		熱媒ボイラー（付帯）	500,000		
測量及び試験費	12,136,000	ガスエンジンコージェネレーション（※）	6,000,000		
		ガスエンジンコージェネレーション（付帯）	3,250,000		
		ガス焼き蒸気ボイラー（※）	600,000		
		ガス焼き蒸気ボイラー（付帯）	536,000		
		熱媒ボイラー	650,000		
		熱媒ボイラー（付帯）	1,100,000		
		（※） ← ASSET事業対象製品			
合 計	353,450,000 円				
購入予定の主な財産の内訳（一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの）					
名 称	仕 様	数 量	単 価	金 額	購入予定時期
ガスエンジンコージェネレーション（※）	750kW超1000kW以下	1式	280,354,260	280,354,260	2020年1月
ガス焼き蒸気ボイラー（※）	3000kg/h以上	1式	57,195,740	57,195,740	2021年1月
熱媒ボイラー		1式	15,900,000	15,900,000	2021年1月

(4)補助対象経費支出予定額に一致する。

本記号(※)を用いてASSET事業対象製品を明示する。

各設備名称は別添1の導入する設備一覧と同じ

材料費のみではなく、労務費、共通仮設費等の全ての経費(含む付帯設備分)も加えた額とする。

注1) 公募申請時は(5)基準額は記入不要で、(6)選定額には(4)補助対象経費支出額を記入する

注2) 複数年度事業は、2カ年度分を本シートに記載する。

【別添2】

経費内訳を作成する際には、別添2添付補足資料から金額を転記すること。

経費内訳

【2019年度分】

公募時は記入しない。 所要経費	(1) 総事業費	(2) 寄付金その他の収入	(3) 差引額 (1) - (2)	(4) 補助対象経費 支出予定額
	282,104,200 円	0 円	282,104,200 円	280,354,260 円
	(5) 基準額	(6) 選定額 (4)と(5)を比較して少ない方の額	(7) 補助基本額 (3)と(6)を比較して少ない方の額	補助対象経費支出予定額内訳の合計額に一致する。
	円	280,354,260 円	280,354,260 円	
(8) ASSET事業対象製品関連経費	(9) その他の経費 (7) - (8)	(10) 補助金所要額 (8) × 1/2 + (9) × 1/3 千円未満切り捨て		
232,000,000 円	48,354,260 円	132,118,000 円		

補助対象経費支出予定額内訳 下記積算内訳の内(※)ASSET事業対象製品の金額合計。

経費区分・費目	金額	積算内訳	資料番号
工事費			
本工事費	264,254,260	材料費 218,619,260 ガスエンジンコージェネレーション(※) 208,000,000 ガスエンジンコージェネレーション(付帯) 10,619,260 労務費 41,275,000 ガスエンジンコージェネレーション(※) 11,715,000 ガスエンジンコージェネレーション(付帯) 29,560,000 共通仮設費 1,160,000 ガスエンジンコージェネレーション(※) 335,000 ガスエンジンコージェネレーション(付帯) 825,000 現場管理費 2,000,000 ガスエンジンコージェネレーション(※) 600,000 ガスエンジンコージェネレーション(付帯) 1,400,000 一般管理費 1,200,000 ガスエンジンコージェネレーション(付帯) 1,200,000	各設備名は別添1の導入する設備一覧と同じ設備名を用いること。 付帯設備がある設備は設備名の後ろに(付帯)と記し、費用を分けて計上すること。 付帯設備には(※)は付けない。
機械器具費	6,850,000	ガスエンジンコージェネレーション(※) 5,350,000 ガスエンジンコージェネレーション(付帯) 1,500,000	本記号(※)を用いてASSET事業対象製品を明示すること。
測量及び試験費	9,250,000	ガスエンジンコージェネレーション(※) 6,000,000 ガスエンジンコージェネレーション(付帯) 3,250,000	
合計	280,354,260 円	(※): ASSET事業対象製品	

(4)補助対象経費支出予定額に一致する。

購入予定の主な財産の内訳(一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの)

名称	仕様	数量	単価	金額	購入予定時期

注1) 公募申請時は(5)基準額は記入不要で、(6)選定額には(4)補助対象経費支出額を記入する

注2) 複数年度事業の2019年度分を本シートに記載する。

注3) 「購入予定の主な財産の内訳」は記載しない。

【別添2】

経費内訳を作成する際には、別添2添付補足資料から金額を転記すること。

経費内訳

【2020年度分】

所要経費	(1) 総事業費	(2) 寄付金その他の収入	(3) 差引額 (1) - (2)	(4) 補助対象経費 支出予定額
	73,895,800 円	0 円	73,895,800 円	73,095,740 円
	(5) 基準額	(6) 選定額 (4) と (5) を比較して 少ない方の額	(7) 補助基本額 (3) と (6) を比較して 少ない方の額	補助対象経費支出 予定額内訳の 合計額に一致する。
	円	73,095,740 円	73,095,740 円	
(8) ASSET事業対象 製品関連経費	(9) その他の経費 (7) - (8)	(10) 補助金所要額 (8) × 1/2 + (9) × 1/3 千円未満切り捨て		
49,701,740 円	23,394,000 円	32,648,000 円		

補助対象経費支出予定額内訳

下記積算内訳の内(※)ASSET事業対象製品の金額合計。

経費区分・費目	金額	積算内訳	資料番号
工事費			
本工事費	69,709,740	材料費 50,909,740 ガス焼き蒸気ボイラ(※) 44,051,740 ガス焼き蒸気ボイラ(付帯) 2,138,000 熱媒ボイラバーナー 3,720,000 熱媒ボイラバーナー(付帯) 1,000,000 労務費 16,500,000 ガス焼き蒸気ボイラ(※) 4,400,000 ガス焼き蒸気ボイラ(付帯) 4,300,000 熱媒ボイラバーナー 1,200,000 熱媒ボイラバーナー(付帯) 6,600,000 共通仮設費 890,000 ガス焼き蒸気ボイラ(※) 450,000 ガス焼き蒸気ボイラ(付帯) 170,000 熱媒ボイラバーナー 70,000 熱媒ボイラバーナー(付帯) 200,000 現場管理費 700,000 ガス焼き蒸気ボイラ(※) 200,000 ガス焼き蒸気ボイラ(付帯) 150,000 熱媒ボイラバーナー 150,000 熱媒ボイラバーナー(付帯) 200,000 一般管理費 710,000 ガス焼き蒸気ボイラ(付帯) 200,000 熱媒ボイラバーナー 210,000 熱媒ボイラバーナー(付帯) 300,000	各設備名は別添1の導入する設備一覧と同じ設備名を用いること。 付帯設備がある設備は設備名の後ろに(付帯)と記し、費用を分けて計上すること。 付帯設備には(※)は付けない。

材料費だけに限らず、労務費や現場管理費等全ての経費は、ASSET事業対象製品とそれ以外を区分して記載すること。

機械器具費	500,000	熱媒ホﾞイパ-ナ- (付帯)	500,000	本記号(※)を用いてASSET事業対象製品を明示すること。
測量及び試験費	2,886,000	ガス焼き蒸気ホﾞイ (※)	600,000	
		ガス焼き蒸気ホﾞイ (付帯)	536,000	
		熱媒ホﾞイパ-ナ-	650,000	
		熱媒ホﾞイパ-ナ- (付帯)	1,100,000	
		(※) ASSET事業対象製品		
合 計	73,095,740 円			
購入予定の主な財産の内訳(一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの)				

(4)補助対象経費支出予定額に一致する。

注1) 公募申請時は(5)基準額は記入不要で、(6)選定額には(4)補助対象経費支出額を記入する

注2) 複数年度事業の2020年度分を本シートに記載する。

注3) 「購入予定の主な財産の内訳」は記載しない。